

目次

総括研究報告書

労働安全衛生法における一般定期健康診断での検査項目等に関する社会
状況等の変化にあった科学的根拠に基づく検討のための研究

研究代表者 森 晃爾 1

分担研究報告書

1. 一般健康診断の留意すべき作業関連疾患や労働者の健康に起因した 安全上の課題等に関する検討

研究代表者 森 晃爾 17

研究分担者 立道昌幸

研究分担者 立石清一郎

2. 現在の一般定期健康診断項目の妥当性に関する検討

(1) 一般健康診断の性・年齢階層別の有所見率

研究代表者 森 晃爾 25

(2) 安静時心電図検査のあり方 35

1) 安静時心電図所見の予後予測能に関する文献調査

研究代表者 森 晃爾 45

2) 一般健康診断における安静時心電図の要医療措置判定の所見に関する 調査

研究代表者 森 晃爾 67

(3) 胸部エックス線検査のあり方

研究分担者 立道昌幸 75

3. 近年の社会状況の変化や医療技術の進化を踏まえた健診項目の検討

(1) 視機能検査のあり方

研究分担者 立道昌幸 95

(2) 骨粗鬆症検査の検討	
研究分担者 立石清一郎	115
(3) 女性健康管理に関する健康診断の検討	
研究分担者 立石清一郎	139
(4) 肝機能異常の事後措置としての血小板数の活用の妥当性	
研究分担者 立道昌幸	155
4. 作業関連疾患を予防するための健康管理に関する海外情報の収集: ヨーロッパ諸国における労働者に対する健康診断の実施状況	
研究代表者 森 晃爾	171